



# 分科会名 パーソナルデータ分科会

- リーダー機関：NTT西日本株式会社
- 代表者：NTT西日本執行役員 ビジネス営業本部 エンタープライズビジネス営業部長 北山 泰三
- リーダー：NTT西日本 ビジネス営業本部 エンタープライズビジネス営業部  
エンタープライズビジネス推進部門 地域プロデュース担当 部長 寺田 雅人

NTT西日本 ビジネス営業本部 エンタープライズビジネス営業部

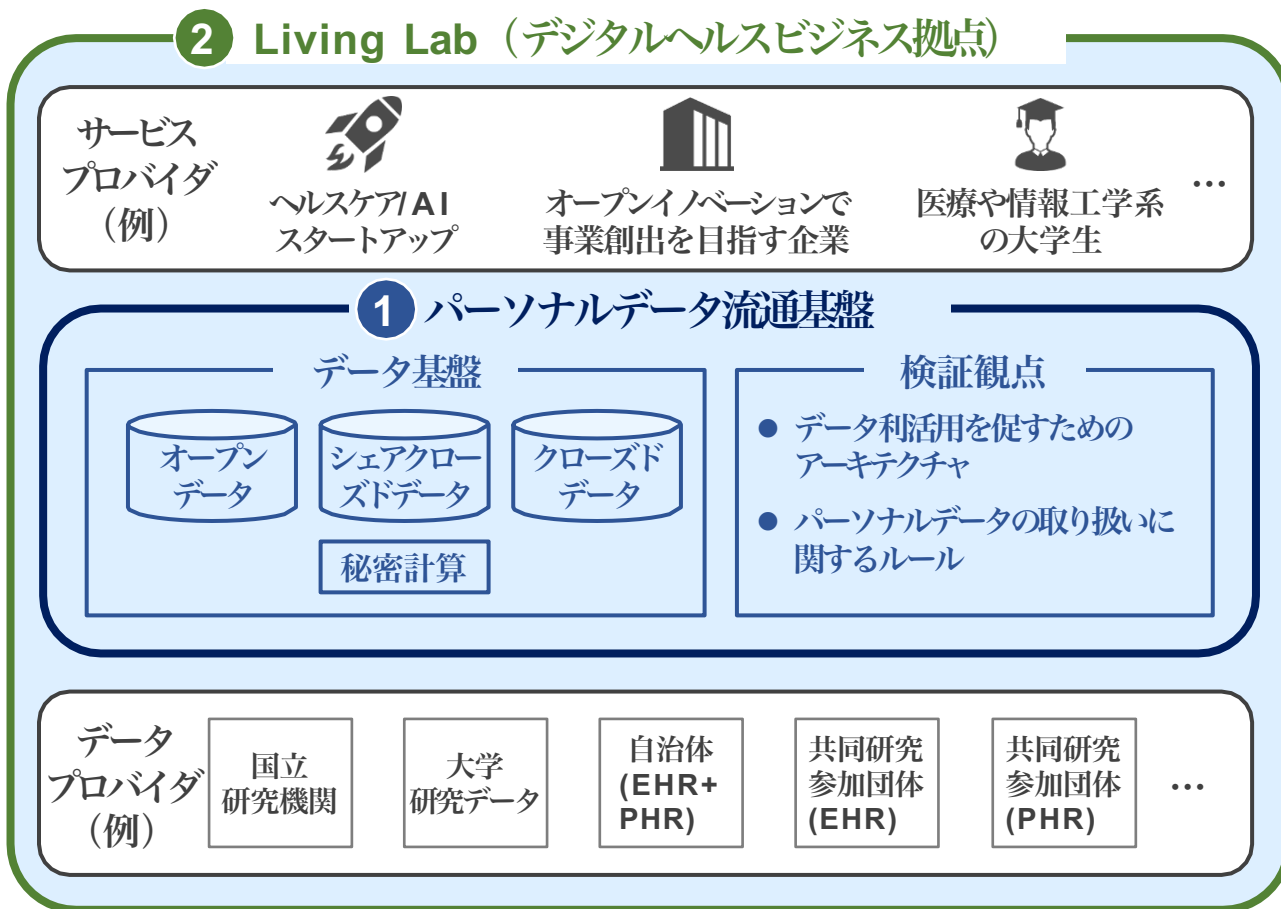
エンタープライズビジネス推進部門 地域プロデュース担当 スマートシティ推進グループ 担当部長 滝本 泰士

# 1. パーソナルデータ分科会のめざす姿

パーソナルデータ分科会では、ヘルスケア領域でのグローバルスタートアップや新サービス創出に資する

「パーソナルヘルスデータの活用環境」に必要な要件を整理し、関西における新たなデジタルヘルスビジネス拠点の整備に貢献する

## 取組の全体像



## 活動内容

## 活動主体

### 1 パーソナルデータ流通基盤の要件整理

- パーソナルデータの利活用における現状課題の整理と解決方法を検討し、データの流通保証・安定運用可能なアーキテクチャ要件を整理
- パーソナルデータの種類やオプトイン有無等に応じたデータ利活用ルールやトラスト付与方法等を整理

NTT西日本が中心となって実施

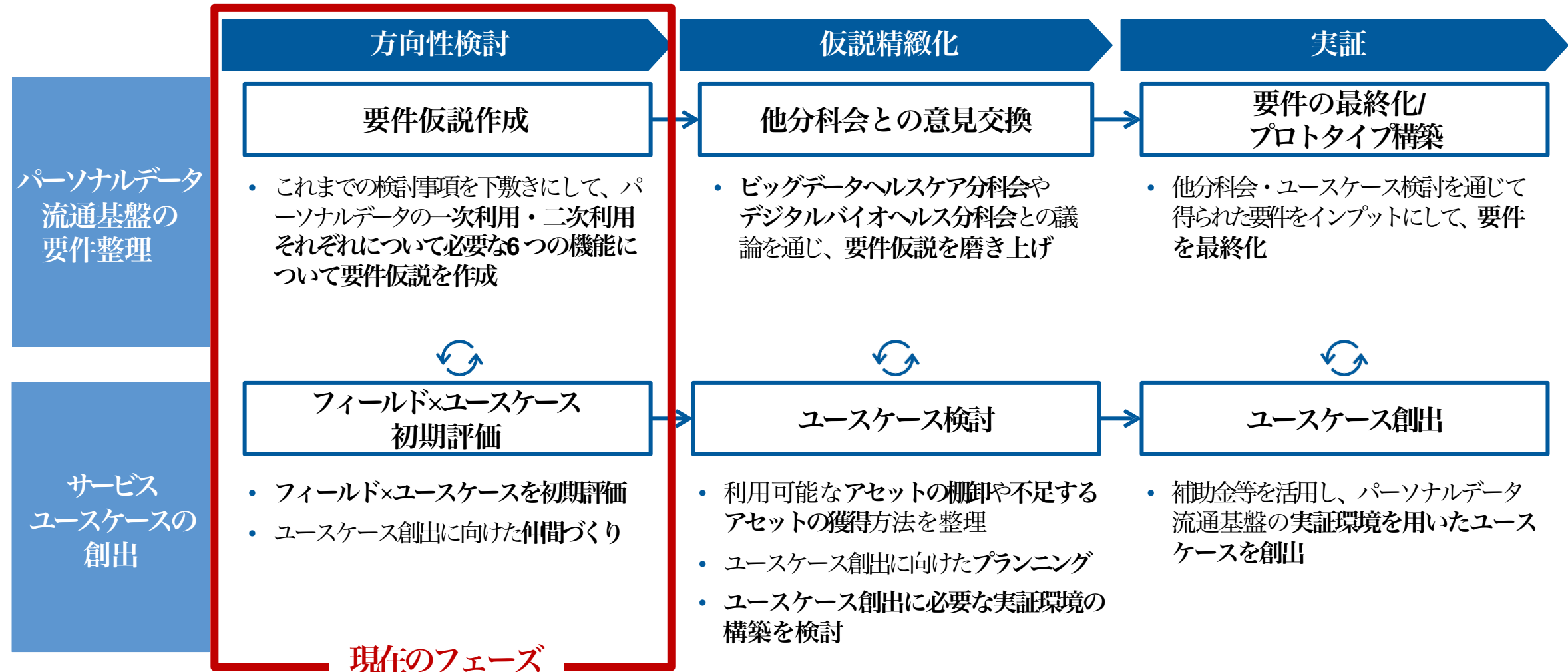
### 2 Living Labの要件整理

- 事業創出に資するリビングラボの事業モデル・プロセス、具備すべき機能を整理

順次メンバーを募集・拡大して実施

## 2. パーソナルデータ分科会のアプローチ

パーソナルデータ流通基盤の要件仮説やサービスユースケースの初期評価を下敷きにして、他分科会との連携・ユースケース検討および実証等を通じて要件の最終化を図る



# 3. パーソナルデータ流通基盤の要件（仮説）

パーソナルデータの一次利用・二次利用の定義等に基づき、パーソナルデータ流通基盤に求められる機能の要件仮説を検討する

パーソナルデータの利活用シーン

パーソナルデータ流通基盤に求められる機能群（仮説）

一次利用	定義	取得したヘルスデータを本人の健康増進及び、診断・治療等本来の目的のために利用する
	データ利活用主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民</li> <li>民間企業</li> <li>医療機関</li> <li>自治体</li> </ul>
	データ利活用用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスサービスの提供を通じた健康増進</li> <li>医療（診断・治療）行為の提供</li> <li>健康増進施策の実施</li> </ul>
二次利用	定義	取得したヘルスデータを本人に当初通知した目的以外の目的（公共の利益・健康／医療科学発展・産業振興目的）で使用する
	データ利活用主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業</li> <li>大学病院/研究機関</li> <li>ヘルスケア・医療ベンチャー企業</li> </ul>
	データ利活用用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>難病診断・治療・予防方法の開発</li> <li>医薬品／医療機器／医療アプリ研究・開発</li> <li>健康医療に関するAI開発</li> </ul>

機能名称	機能概要	利活用シーン	
		一次利用	二次利用
① ヘルスデータ連携機能	本人の同意に基づき、民間企業や学術・研究機関、マイナポータル、自治体等が保有する健康医療データを連携する	○	○
② ヘルスデータ統合管理機能	民間企業や学術・研究機関、マイナポータル、自治体等が保有する健康医療データを一元化し、健康状態・健康リスクが見える化する	○	—
③ パーソナルアドバイザー機能	個人の健康医療データに基づき、健康リスクやニーズに適したパーソナライズサービスを提案する	○	—
④ 情報銀行機能	本人の同意に基づき、健康医療データを預託及び第三者提供する	○	○
⑤ 匿名加工機能	健康医療データの第三者提供にあたり、次世代医療基盤法に基づき匿名加工医療情報を作成する	—	○
⑥ ヘルスデータ利活用ルール策定・データ利活用統括機能	ヘルスデータを安全・安心に流通・利活用するためのルール策定及びユースケースを検討する	○	○

# 4. パーソナルデータ分科会の検討スコープ

パーソナルデータ利活用の拡大に向けて、まずは一次利用事業に係るサービスユースケースの創出を行う

○ : サイクルスタート

First step

＜一次利用＞

住民が健康医療サービス・データを積極的に活用する

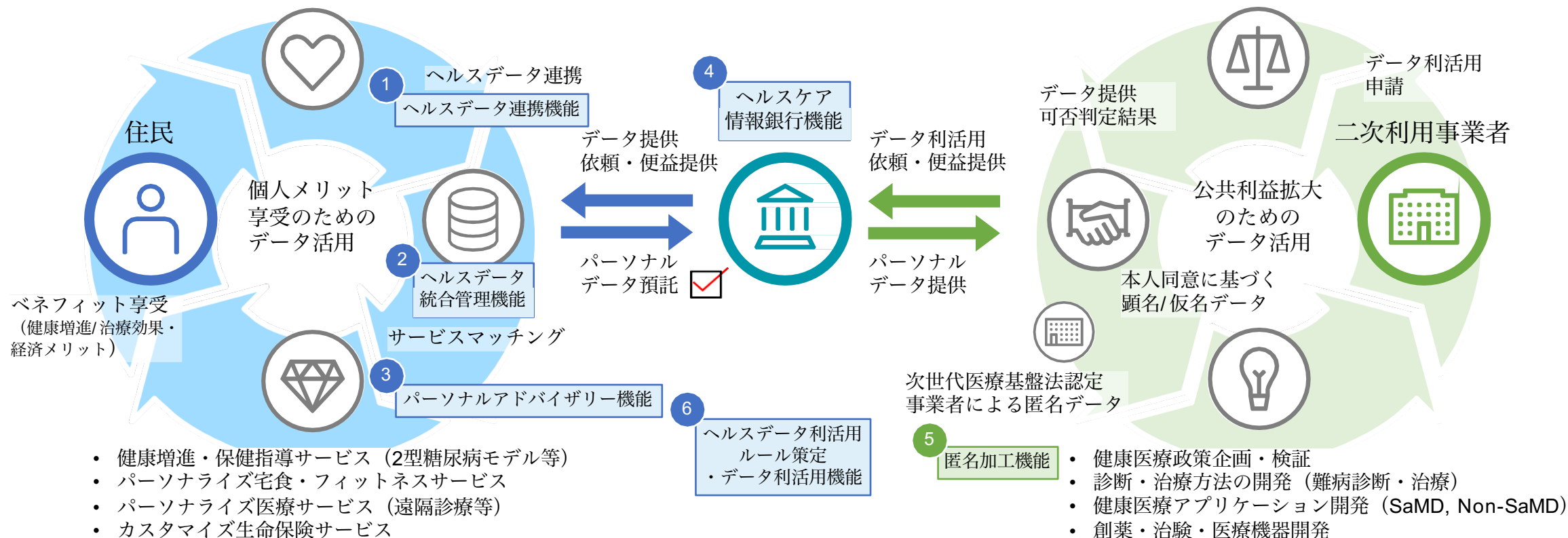
- 住民の本人同意の基づきマイナポータル経由によるデータ連携
- 健康医療サービス利活用によるデータ連携

Next step

＜二次利用＞

安心安全に健康医療データを健康/医療科学の発展・産業振興に活用する

ELSI(Ethical, Legal and Social Issues)  
視点からのデータ利活用可否判定

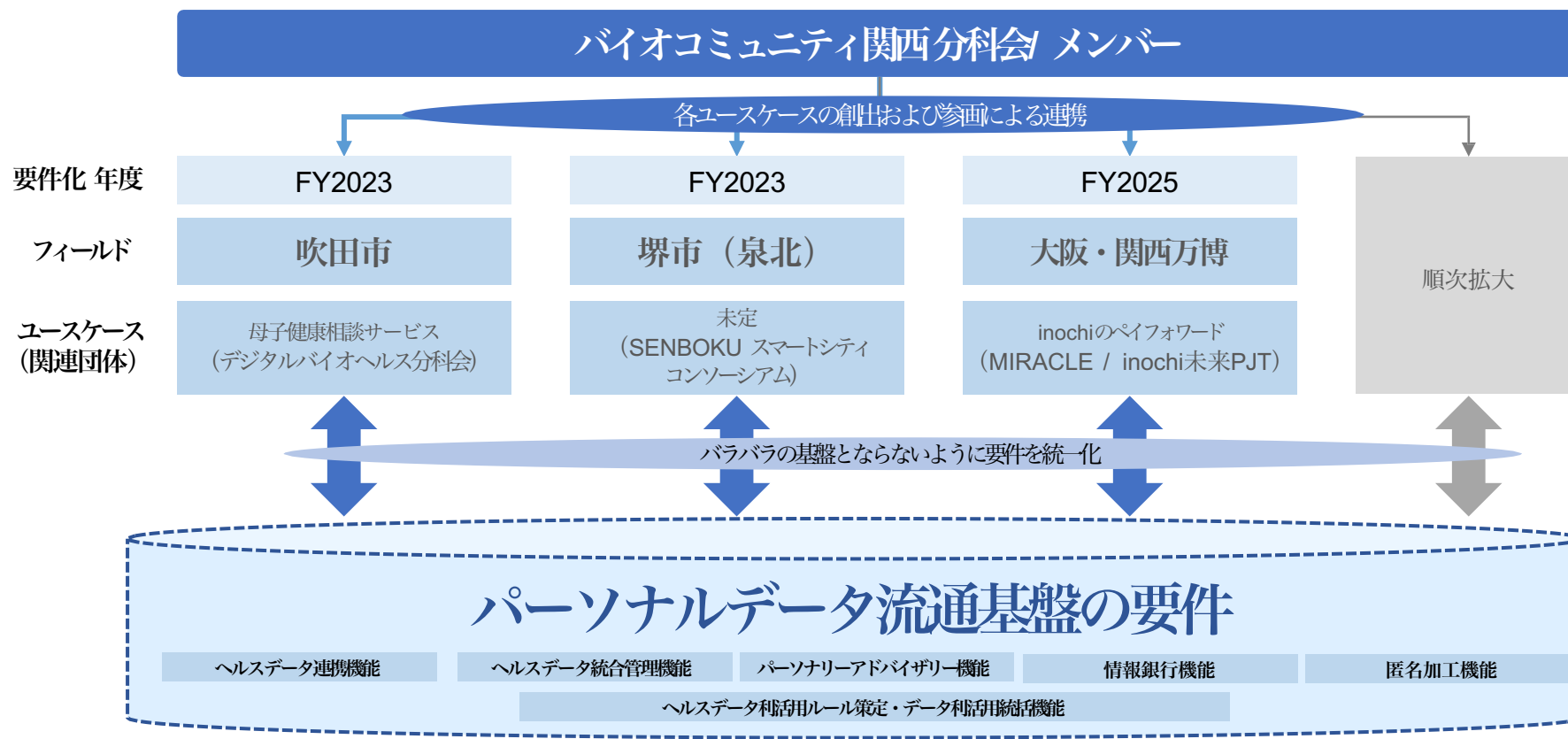


- 健康増進・保健指導サービス (2型糖尿病モデル等)
- パーソナライズ宅食・フィットネスサービス
- パーソナライズ医療サービス (遠隔診療等)
- カスタマイズ生命保険サービス

- 健康医療政策企画・検証
- 診断・治療方法の開発 (難病診断・治療)
- 健康医療アプリケーション開発 (SaMD, Non-SaMD)
- 創薬・治験・医療機器開発

# 5. パーソナルデータ分科会活動イメージ

BiocK分科会や関西圏での複数のユースケースに分科会として参画し、パーソナルデータ流通基盤の要件を整理し、BiocKを通じて分科会/メンバーへ展開する



## パーソナルデータ分科会の活動

### サービスユースケースの創出

- ✓ BiocKのユースケースとして扱う旨、各関連団体と調整 (BiocK分科会のユースケース対応を優先)
- ✓ BiocK分科会/メンバーに対して、各ユースケースへの参画を促進

### パーソナルデータ流通基盤の要件整理

- ✓ 各ユースケースの要件を整理し、BiocKを通じて分科会/メンバーに展開